

2018年7月19日

相模原市長 加山 俊夫 様

## 相模原赤十字病院における眼科医師の確保及び診療継続に関する申し入れ

日本共産党相模原市議団

団長 松永 千賀子

相模原赤十字病院（緑区中野）の眼科診療について、医師が9月末で退職することに伴い、医師を確保することができない場合、10月以降は休診になることが予告されている。

また、7月1日からは新規患者の受け入れが中止となっており、地域医療に影響が出る状況で、住民に不安が広がっている。

現在、緑区内には10件の眼科があるが、橋本地区に集中しており、旧津久井郡地域では、城山地区2件、津久井地区1件で、相模湖・藤野両地区には眼科がない状況である。

津久井地区で唯一の相模原赤十字病院の眼科が休診となった場合、住民に影響が出ることは必至で、地域医療体制の確保の点でも大きな問題となる。

相模原赤十字病院は公立病院ではないが、公的な医療機関として重要な役割を果たしており、地域医療体制の一翼を担う重要な医療機関である。

よって、市におかれては、相模原赤十字病院における眼科医師の確保及び診療継続に向け、以下の取り組みを要請する。

### 記

1. 相模原赤十字病院から状況等をよく聞き取り、現状把握に努めること
2. 相模原赤十字病院と連携し、眼科医師の確保及び診療の継続、地域医療体制の確保に向け、市としての取り組みを早急に検討し、実行すること
3. 本件に限らず、地域医療体制の確保に向けた施策を充実すること

以上